

TOPIC 2 令和7年度行政研修実施結果レポート

行政フォーラム（第204回～第209回）

回	日 程	講 師	テ ー マ	参加者数
第204回	7月30日(水)	鳥 海 不二夫 東京大学大学院工学系研究科 システム創成学専攻教授	デジタル空間とどう向き合うか ～情報健康の実現のために～	71
第205回	10月16日(木)	平 田 オリザ 芸術文化観光専門職大学学長	芸術文化（演劇）による地域に根ざした 地方創生	65
第206回	12月17日(水)	松 田 邦 紀 前駐ウクライナ特命全権大使	最新のウクライナ情勢と日本	98
第207回	1月21日(水)	竹 林 一 大阪大学フォーサイト株式会社 エバンジェリスト	『ワクワクする未来を創る2つの意思決定 システム』 ～イノベーションを生み出す忍者と武士～	83
第208回	2月12日(木)	内 堀 雅 雄 福島県知事	「FUKUSHIMA」の未来	195
第209回	3月6日(金)	江 間 有 沙 東京大学国際高等研究所 東京カレッジ准教授	AI時代のガバナンスをどう捉えるか	137

※第204回～第207回および第209回はオンライン開催、第208回は通勤（対面）開催（参加者数は、オンラインは登録者数、通勤は実参加者数。）。

幹部行政官セミナー（アスペンメソッド）

	日 程	モデレーター、リソース・パーソン	備 考	参加者数
審議官・ 筆頭課長 級	9月11日(木)、 10月2日(木)、 11月11日(火)、 12月16日(火)	村 上 陽一郎 東京大学名誉教授	●アスペン・メソッドは、あらかじめ用意された古今東西の古典からなるテキスト（重要部分を抜粋したもの）を使用し、モデレーターの問いかけや整理に助けられながら、各参加者が積極的に発言し、対話と議論を積み重ねていくという思索型の研修。 ●モデレーター：テーマについての講義ではなく、対話を活性化させ、適切な方向性を与える。 ●リソース・パーソン：対話の質を高め、より実り多きものとなるよう節度ある助言をする。	16
		関 根 清 三 東京大学名誉教授		
		押 村 高 青山学院大学名誉教授		

※10月2日(木)のみ通勤形式で実施し、当該日以外はオンライン形式で実施した。